

## 編集後記

開学8周年目を迎え論集も通巻22号を数える。年度末の多忙のなかでのご寄稿を編集子として感謝したい。ここで本誌第1号からの総目次をリスト・アップした。図書課長の労による。本学教員による学術論文の発表と紀要という二つの側面をもった本誌の性格について一同苦慮しながらここにいたった。一般教育と専門教育それぞれほぼ25名のスタッフによる年4回の刊行に際し、いずれの部門の教員にも研究発表の機会が開かれていなければならないという主旨が本誌の二面的性格をとる所以である。

こころみに昭和46年度、本学専任教員によって執筆された単行の著書、共同執筆、論文を概観してみると、著書がつぎの5点、高橋秀雄著：物流事業経営論、松好貞夫著：明治絶対主義の経済と金融、鈴木啓祐著：物資輸送量の計測と予測（日本交通学会賞受賞）、鈴木啓祐著：現代統計学入門、板倉勝高著：都市の工業と村落の工業、このほか数篇の共同執筆が優に一冊の著書に匹敵する成果をあげられた渡辺、林両教授あり、また全教員ほとんどがなんらかの形で成果を発表し、その数は昨年度だけでも膨大なものとなっている。これらは私の知るかぎりにおいてである。その数多きが故に貴いわけではもちろんない。しかし鈴木教授の日本交通学会賞受賞、渡辺教授の日本教育社会学会研究部長としての活躍等学外における研究活動も自負するに値しよう。2年近い重症の後書かれた板倉教授の著書を快気祝としていただいた。寡聞にして私はそのような例を知らない。強靱な意志に敬意を表し、同学の士として欣快に堪えない。

拙文聊か以って自画自讃に過ぎたる感あり。新委員心を新たにしていかに期するところがある。（矢野記）

流通経済論集 Vol. 7, No. 1（通巻第22号）

昭和47年5月25日発行

非売品

編集兼発行所

流通経済大学学術研究会  
茨城県竜ヶ崎市字平畑120番地  
電話 竜ヶ崎 (02976-2) 3251（代表）  
財団法人 東京大学出版会  
東京都文京区本郷7丁目3番地の1 東大構内  
電話 東京 (03-811) 4281

製作所